

港区立青南小学校
令和6年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を決め、相手に伝わるように経験や思いなどを伝えたり、話し手の意図や話の中心を捉えながら聞いたりする力。 ・思ったことや考えたことを、助詞を正しく使って文章に書き表したり、目的や意図に応じて内容を明確にしながら表現の効果を考えたりして書く力。 ・言葉に触れ、活用する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話聞き、自分の考えに取り入れながら深めていく児童が少ない。 ・相手の意図を考えながら話の内容を聞いたり、メモを取ったりすることが難しい。 ・一文が短く、内容が簡潔にまとめられている文章を書くことに課題がある。 ・文章を読まずに思い込みで答えてしまったり、筆者の主張を正しくとらえられなかったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ活動や相手の話を簡単なメモを取りながら聞く活動を行い、相手意識を高める。自分の考えが適切に相手に伝わるような話し方、聞き方を工夫できるように指導する。 ・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりする活動を増やす。 ・どのようなまとまりで書かれているのか、表現の効果は何かを全体で考え、読み手に与える印象の違いを理解できるように指導を工夫する。 ・言葉遊びを取り入れたり、漢字、文字を意識的に使うような活動を取り入れたりする。読書マラソンの計画的な活用を行い、読書環境を充実させる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことから人々の工夫や努力について考え、文章でまとめる力。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とする資料の収集、整理、取捨選択に慣れていない。 ・生活の中にある情報活用の問題の理解に課題がある。 ・資料を読み取り、分かったことを表現する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に調査した際の気づきや発見を学級で共有する中で、人々の工夫や努力を考えるよう指導する。 ・資料から分かることや、そこから考えられることを話し合うことで、多角的に物事を考える力を養う。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に表現・処理する力。 ・見通しをもち、筋道を立てて考え、考えたことを分かりやすく表したり、発表したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の関係が理解できておらず、適切に単位換算できない児童が見られる。 ・高学年になるにつれて、知識・技能においても、思考・判断・表現においても、個人差が大きくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数理的に考察したり、自分の考えを数的に表現し処理したりする活動を充実させる。 ・具体物、図、表、グラフ等、相互の関連を図り、問題解決する活動を充実させる。 ・友達と考えを交流し学び合ったり、学習を振り返り、よりよく問題解決できたことを実感したりする活動を充実させる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・事象から問題を見出した り、解決したりする力。 ・自然事象を適切な言葉を選 んで考えを伝える力 ・実験技能を身に付け、自 ら進んで調べようとする 力。 ・学びを生かして豊かな暮 らしや生き方を考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象から問題を見出す 力が十分でない児童が見ら れる。 ・生活経験を基に実験、観 察の予想を立てにくい児童 がいる。 ・生物や環境とのかかわり について学んだことを具体 的な行動に移すことが課 題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を求めて既習や生活 経験を見直し、考えを広 げる機会を増やす。 ・結果をもとに結論を整理 して表現することにより、 用語も含めた知識理解の 定着につなげる。 ・可能な限り一人一実験を 実施し、器具の名称を押 さえたとうえで、同じ実 験を繰り返し正しい機器 の使い方の習熟を図る。 ・学習内容を生活科及び学 年間、中学校との内容の 系統性及び日常生活での 活用や科学技術との関 連に広げる指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で興味をもち、挑 戦する力。 ・気付いたことを表現し、 伝える力。 ・気付いたことを生活の中 で生かす力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する児童の興 味・関心・意欲の個人差 が大きい。 ・観察している事象に対 して、気づきはあるが、 つぶやきや文章で表現 することに課題がある 児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験ができるよ うに前年度の反省を生か した指導計画を立てる。 ・気付いたことを表現す る方法を指導し、友達に 伝え合う場面を増やす。 ・気付いたことを日々の 生活の中で、生かしてい けるように家庭と連携を 取る。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現を するために必要な技 能 ・音楽表現を工夫したり、 味わって聴いたりする 力 ・音楽を愛好する心情、 感性 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカ・リコ ーダー等技術の獲得に 熱心に取り組む児童も いるが、個人差が大きい。 ・鑑賞に取り組む態度は、 少しずつ向上している。 ・グループ活動等、協働 で取り組む活動が、経 験が少ないこともあり、 設定した時間よりも多 くかかってしまう傾向 にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽構造の働 きを理解し、表現に生 かすことができるよう に、継続的・計画的に 指導していく。 ・どのような表現する のか思いや意図をもた せ、曲の特徴にふさわ しい表現を試したり考 えたりする活動を取り 入れる。 ・協働して音楽に親し む場面の設定や、様 々な音楽に親しむ場 面を設定する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現す るために適切な材料 や道具を扱える力。 ・学んだことを生活 の中で活用したり、応 用したりする力。 ・身近にある作品な どの形態から、表現 の意図や特徴、良さ や美しさなどを感じ 取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターや彫刻刀で のけがが多い。また 扱いなれていない道 具は、時間の経過で 使い方を忘れてしま う。 ・課題に対して、発想 が広がらなかったり、 自分のやりたいこと に技能面が追いつけ ななかったりすること で、意欲をなくして しまう。 ・鑑賞することには 積極的で、友達の 良さも多く見つけら れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた材 料や道具を適宜用意 し、扱い方などにつ いて視覚的に手本や 見本を示しながら 指導する。 ・見通しをもって 主体的に活動でき る姿勢を育てる 工夫をする。また、 幅広く多くの造形 活動の機会を設 ける。 ・様々な作品に触 れる機会を設定 したり、自分の作 品や他の人の作 品を鑑賞して交 流したりする時 間を取り入れる。

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる力。 ・日常生活の中から課題を見つけ、様々な解決方法を考え、進んで実践する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な裁縫についての技能が十分に習得できていない。 ・授業で学習した事柄について、それを実生活に生かすことができる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では、一人一人が実技をしっかりと行えるように、形態(一人実習)、道具の用意などを行う。 ・学習したことを自分の生活と関連付けを行い、家庭での実践を促す。保護者会での説明を行ったり、実践を共有したりする。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを楽しみ、自らの運動課題を見付け解決する力。 ・友達と協力し、よさを認め合い、考えを伝え合う力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果より、ソフトボール投げの結果が都の平均より下回っている学年が多く、投の力に課題を感じる。 ・個によって取り組みに差があり、得意と感じている子と苦手と感じている子で差が出やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動との出会わせ方を工夫し、誰もが十分に運動の特性を味わえる学習活動を計画する。場や環境を整え、学習カードや ICT 等を活用することで自己の課題を見付け解決する方法の思考を促す。 ・領域に応じたチームやグループを設定し、学び合いながら学習が進められるようにする。動きのポイントや見る視点を与え、友達の活動を認め合いながら関わり合えるようにする。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語による実践的コミュニケーション力の基礎を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語を読んだり書いたりするなどの、知識・技能の個人差が大きくなっていることで、思考・判断においても差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的・場面・状況を明確にし、語句や表現に慣れ親しむ活動を通して、異国の文化や英語に興味をもつ工夫をする。 ・ペア活動、グループ活動を取り入れることで、英語に親しみながら活動し、自然に話す場面を作る。 ・英語講師や担任と NT が連携して授業作りを行い、クラスの実態に合わせた声かけ、場面設定を行う。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪を判断する態度を養う。 ・友達と互いに理解し合い、思いやり、助け合う心を育む。 ・人間としてもつべき規範意識を身に付ける。 ・自他の生命を尊重し、大切にすることを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材のテーマにおいて、自分のこととして考えて振り返ることが難しい児童がいる。 ・登場人物の心情や考えに自我関与することが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を要として、全教育活動を通して意図的・計画的に指導に当たる。 ・表現活動や話し合い活動を取り入れ、多様な考え方に接し、自分の考えを広げたり深めたりする場面を作る。 ・道徳的価値の理解を深め、自分事として考えられる発問を行い、多面的・多角的な考え方を育む。 ・自己を見つめられるような発問をして、具体的に振り返られるようにする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を通して、多様な他者と協働し、集団活動に自発的に参加しようとする。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、合意形成を図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動において、多様な意見を受け入れたり合意形成を図りながらまとめたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事や活動ごとに振り返りの機会を設け、学校生活に対して問題意識をもたせる。 ・児童主体の計画→実践→振り返り→改善の活動を行い、問題意識を表出したり具体的な活動をしたりできる流れを作る。 ・合意形成を大切に、話し合いにおいては、他の意見を尊重し認め合うことで皆が主体的に話し合いに参加できる雰囲気をつくる。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活に目を向け、興味・関心あることを増やしていこうとする力。 ・課題解決や探求活動に主体的、創造的、協働的に取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、継続的にかかわる力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味・関心のあることを捉えるように、様々な体験活動を行う。 ・自分の興味あることから課題設定を行う。 ・グループ活動、個人活動をバランスよく取り入れ、友達の作品や発表から学習を深める機会をもつ。